

Q10 「個別の指導計画」・「個別の教育支援計画」とは何か？その意義や形式を教えてください。

A： 特別支援教育の推進において、個別の指導計画と個別の教育支援計画の活用により、個々の児童生徒の障害に応じた適切な指導の充実が求められている。参考となるパンフレット等が県教育委員会から出されている。それらを基に、学習指導要領上の位置付け、意義、個別の指導計画の例、個別の教育支援計画の例、参考資料について示したい。

1 学習指導要領上の位置付け

小学校学習指導要領総則第4の2(7)

障害のある児童などについては、特別支援学校等の助言又は援助を活用しつつ、例えば指導についての計画又は家庭や医療、福祉等の業務を行う関係機関と連携した支援のための計画を個別に作成することなどにより、個々の児童の障害の状態等に応じた指導内容や指導方法の工夫を計画的、組織的に行うこと。（中学校学習指導要領では総則第4の2(8)に同等の記載有り）

↓
個別の指導計画

↓
個別の教育支援計画

2 意義

(1) 個別の指導計画

障害のある児童生徒一人一人について、指導の目標や内容、指導方法の工夫を計画的、組織的に行うなど、個々の児童生徒に応じた適切な指導を行うためのもの。

(2) 個別の教育支援計画

就学前の幼稚園や保育所、医療、福祉等の関係機関における指導や支援の全体像を把握し、関係機関との役割分担を明確にした上で個別の指導計画を作成したり、また、進路先に在学中の指導や支援の状況を引き継ぐ際に、個別の教育支援計画を活用し、関係者間で支援の全体像についての共通理解を図ったりするなど、学校や関係機関における適切な指導や必要な支援に生かすもの。

3 個別の指導計画

(1) 通常学級における個別の指導計画作成の留意点

通常学級で、支援の必要性が高い児童生徒に対する指導においては、必要に応じて「個別の指導計画」を作成する。

目標や指導の手立てを明確にすること、教職員同士、教職員と保護者の間で指導に関する情報を共有すること、定期的な評価に基づき指導の改善を行うことなどが個別の指導計画の役割となる。

作成に当たっては、うまくいっているところを生かすこと、2か月程度で達成可能な目標を一つ、二つに絞ること、指導の手立てを具体的に設定することがポイントとなる。

評価を適切に行い、指導の生かすことが必要である。

作成することで満足せず、関係教職員で活用して実際の指導に生かすことが求められる。

(2) 通常学級における個別の指導計画の例（「学級担任による個別の指導計画の活用」p.3）

《 個別の指導計画 》					No. 1
学年・組	○年○組	担任名	○○ ○○	記入年月日	20年 5月 2日
氏 名	○○ ○○			評価予定日	20年 7月16日
	実 態	指導目標	指導場面	指導の手だて	評 価
学 習 面	<p>【うまくいっているところ】</p> <p>○理科が好きで、観察などの実習では集中して取り組んでいる。</p> <p>【つまづいているところ】</p> <p>・国語の音読が苦手である。しかし、ふりがなをつけることで自信をもって読めることが多くなってきた。</p>	○理科の時間は毎時間1回は発言することができる。	○理科の時間 教室、理科室 担任	○その都度言葉かけやノートに丸をつけるなどして、細かいところまで観察できているよさをほめる。意図的に指名し発言の機会を設定することで、本児のよさを他の子どもたちにも伝えていく。	○理科の時間で、毎時間1回は発言することができる。なお一層意欲的に理科の学習に取り組んでいる。
生 活 面	<p>【うまくいっているところ】</p> <p>・毎日忘れずに、配り係の仕事をする事ができる。</p> <p>【つまづいているところ】</p> <p>○清掃の時間では、熱心に廊下の雑巾がけができるが、途中で、友達にちよっかいを出しトラブルになることがある。</p>	○終了時間まで清掃することができる。	○清掃の時間 廊下 担任	○一緒に雑巾がけをしなが、本児の熱心な取組を毎日賞賛していく。終了の音楽がなったら、「きれいになったね。ありがとう。」と声をかける。	○終了時間まで熱心に清掃することができるようになってきた。

(3) 特別支援学級・通級による指導における個別の指導計画作成の留意点

当該児童生徒の実態やニーズを考慮の上、当該児童生徒のうまくいっているところやがんばっているところを更に伸ばすように目標や手立てを考える。

目標は、長期目標（おおよそ1年間で達成できるもの）と短期目標（おおよそ学期ごと）とに分け、関連付けて設定する。短期目標は達成可能なより具体的な目標を設定する。

作成に当たっては、学級担任や特別支援教育コーディネーター等が保護者と連携を図る。

児童生徒にとって適切な計画であるために、計画（PLAN）- 実践（DO）- 評価（CHECK）- 改善（ACTION）を適宜行い、より適切で効果的な指導となるよう指導内容や方法を改善する。

(4) 特別支援学級における個別の指導計画の例 (「特別支援学級及び通級による指導教育課程編制の手引」p.119)

平成 年度 個別の指導計画								
氏名	平成 年 月 日生 4学年			担任	〇〇 〇〇			
実態	障害種・診断名	広汎性発達障害		特記事項	食べ物の好き嫌いが激しく、給食はご飯しか食べないことがある。そのため、家庭からふりかけを持参している。			
	心理検査等の結果	田中ビネー知能検査(平成 年 月 日実施) IQ=〇 S-M社会生活能力検査(平成 年 月 日記入) SQ=〇						
各教科等名	うまくいっているところ つまずいているところ	長期目標	短期目標	自立活動との関連	手立て	児童生徒の変容	総合的評価面	
各教科	うまくいっているところ		第1期					
	つまずいているところ		第1期 第2期 第3期	5(5) 5(5) 5(5)	見本の写真を用いて、作り方の見通しをもたせる。工夫しているところを認める。 交流学級に行く前に遊園地に行った思い出を話し合う。行ってみたい遊園地を想像させる。 彫刻刀を使うので学級で事前に指導する。下書きは本児のイメージを聞きながら描くことを手伝う。	最後まであきらめずに作品を作ることができた。 自分のイメージ通りの作品ができ、満足な様子が見られた。 担任と一緒に作品を仕上げたことに満足した様子が見られた。	本児のもつイメージや本児の工夫を生かした作品を作ることができた。今後は絵画でも本児のイメージを生かせるよう支援したい。	
	うまくいっているところ ・はさみやのりをうまく使える。	自分の工夫を生かして造形活動を行うことができる。	第1期	5(5)	・紙工作のゲームを作ることができる。			
	つまずいているところ ・絵を描くのは苦手だが、教師が薄く描いた線はなぞれる。		第2期	5(1)	・粘土で遊園地を造ることができる。			
	うまくいっているところ ・休まず体育に参加できる。		第3期	5(1)	・板版画を彫ることができる。			
	体育(交流及び共同学習)	うまくいっているところ ・休まず体育に参加できる。	体を動かす楽しさを味わいながら、体力を付けることができる。	第1期	5(1)	・リレーに参加することができる。	事前にはバトンのおもひ方、渡し方を指導する。最後まで走れたらほめる。	バトンをもって走り出すまでに少し時間がかかるが、最後まで走り切る様子が見られた。
つまずいているところ	第2期	5(1)		・運動会のダンスに参加することができる。		担任が側で一緒に踊る姿を見ながら練習を行う。少しずつ見守る場面を増やす。	当日は担任とともにダンスを踊り、満足した様子が見られた。	
みんなの動きに合わせて体を動かすのは苦手であるが、努力する姿が見られる。	第3期	5(1)		・縄跳びの前とびができる。		初めは縄跳びを片手に持ち、回すこととジャンプのタイミングを合わせるようにする。	ゆっくり回しながら跳べるようになった。	
特別活動	学校行事	うまくいっているところ ・行事を嫌がらずに参加している。	集会で話を最後まで聞くことができる。	第1期	3(4)	・列の一番後ろで、小声で話の解説をする。立ち上がった後体育館の隅に移動させる。	5分程度聞くことができるようになったが、突然立ち上がりふらふらすることも見られた。	教師が話を解説しなくても、側にいることで落ち着いて話が聞けるようになってきた。カードの使用は継続したい。
	つまずいているところ	第2期		3(4)	・カードを見せて移動することができる。		「うごいていいですか、カードを持たせ、担任に見せてから隅に移動させる。」	カードを見せてから移動できるようになった。
	集会や朝会で飽きると立ち上がり、移動してしまう。	第3期		3(4)	・10分間話を聞くことができる。		話の解説とカードの支援を継続する。	立ち歩きが少なくなった。
各教科等名	実態	長期目標	短期目標	自立活動との関連	手立て	児童生徒の変容	総合的評価面	
各教科等を合わせた指導	日常生活の指導	うまくいっているところ ・予定通り行動することができる。 ・手助けが必要なとき担任に伝えることができる。	机の中の整理整頓ができる。	第1期	4(2)	・見本の写真を用いて、作り方の見通しをもたせる。工夫しているところを認める。 ・「はさみはこの箱ね」と言いながら、道具を入れる。	教師が言葉かけに合わせて、箱に道具を入れるようになった。	机の中の整理整頓ができるようになった。今後は、ロッカーの整理整頓もできるような指導を継続する。
	つまずいているところ ・整理整頓が苦手であるが机の中の整頓の仕方を教えるとやろうとする。	第2期		4(2)	・教師の言葉かけで、引出しの区分けに合わせて道具を入れることができる。		「机の整理整頓」とは箱に決められた道具を入れることと教える。 ・「はさみはこの箱」と言い、箱指さす。少しずつ「はさみはどこに入れる?」と言うだけにする。	教師の言葉かけだけで、自分で箱に道具を入れることができるようになった。
	生活単元学習	うまくいっているところ ・学習の見通しがもてれば、独りで集中して学習することができる。 ・困った時に教師を見て、助けを求めることができる。		友達に自分の考えを伝えながら学習を進めることができる。	第1期	2(1) 4(2) 3(4) 6(5)	・遠足の活動についての話し合いは、教師が代弁しながら行う。 ・遠足当日、不安な様子が見られたら、すぐに声かけをし、話を聞く。	「友だちとけんかにならずに遠足に参加することができる。しかし、友だちともに行う行動は少なかった。」
つまずいているところ ・教師の目の行き届かないところで、友だちとけんかになってしまうことがたびたび見られる。教師の言葉かけでけんかにならずにすんだこともあった。	第2期	2(2) 3(4) 6(5)	・保護者に見せる出し物を友達と協力して行えるよう、教師が見本を行動で示す。 ・友達の予想もつけない面白い動きに気付き、ともに味わうようにする。			「友達の動きに興味を持って行えるようになった。出し物を友達と一緒に行うことができた。」		
その他	うまくいっているところ ・友達に誘われれば、一緒に外へ行ける。	友達と一緒に外で遊ぶことができる。	第1期		3(1)	・同じ学級の5年生に外遊びに誘ってもらおうとお願いをする。	必ず外に出るようになったが、異学年なので遊ぶ内容が違ってしまった。	進んで外に出られるようになった。気の合う友達と過ごすことができるようになった。
つまずいているところ ・外へ行っても一人で遊ぶことが多い。	第2期		3(1)	・友達の誘いで外で遊ぶ。		交流学級の友だちに協力を頼み、担任も交えて遊ぶようにする。		
	第3期		3(1)	・仲良しの友達と一緒に外で過ごせる。		交流学級の気の合う子に散歩の協力をお願いする。	教師がいなくても進んで一緒に散歩する姿が見られた。	

(5) 通級による指導用個別の指導計画の例 (「特別支援学級及び通級による指導教育課程編制の手引」 p.120)

平成 年度 個別の指導計画						
氏名	〇〇 〇〇		平成〇年〇月〇日生 (〇)学年	保護者	〇〇 〇〇	
担任	〇〇 〇〇			在籍校・学級	〇小学校 〇年 〇組 ()	
担当者	〇〇 〇〇			通級曜日・時間帯	火曜日 6校時	曜日 校時
実態	障害種・診断名	注意欠陥多動性障害		特記事項	・サッカーのスポーツ少年団でレギュラーになっている。 ・虫や動物に関する図鑑を読むのが好きで、知識もある。 ・〇〇市教育センターへ2か月に1度教育相談をしている。	
	心理検査等の結果	WISC- 知能検査(HO:O.O実施) FI:QO(VI:QO・PI:QO)				
	うまくいっているところ つまずいているところ	目標	自立活動との関連	手立て	児童生徒の変容	総括的評価
通級による指導	学習面	うまくいっているところ	第1期	2(1) 2(3)	漢字の構成を言葉に置き換え、それを覚えて書かせる。 練習後は、ごほうび活動を位置付ける。	30文字中25文字書けた。このやり方ならやってもいいと言っている。
		つまずいているところ	第2期			
		うまくいっているところ	第3期			
	生活面	うまくいっているところ	第1期	1(1)	活動計画表のめあてに記入し、活動ごとにチェックする。	面倒がることもまだ多いが、声をかけることで取りかかれるようになった。
		つまずいているところ	第2期	1(1) 2(2) 3(3)	最初の遊びも活動計画に位置付けさせる。 ・タイマーを自分でセットさせる。	
		うまくいっているところ	第3期			

裏面に在籍学級担任が作成した個別の指導計画を記載する

4 個別の教育支援計画

(1) 栃木県における捉え方

栃木県においては、個別の教育支援計画を、その児童生徒の将来を見据えながら、各年齢段階において、支援の全体像を把握し、関係機関との役割分担を明確にして、適切な指導や必要な支援を検討するために活用する「支援機関一覧」ととらえる。

各年齢段階における具体的な指導や支援については、学校が作成する個別の指導計画、医療や福祉等の関係機関が作成する個別の支援計画に基づき実施されるものである。

(2) 個別の教育支援計画の例（「個別の教育支援計画の作成について」p.3）

個別の教育支援計画の記入例《小・中学校、高等学校等》

個別の教育支援計画 [支援機関一覧]

氏名(フリガナ)	栃木 太郎 (トチギ タロウ)	生年月日	平成〇〇年〇〇月〇〇日	性別	男
保護者氏名	栃木 一郎	住所	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇市〇〇町 〇〇番地〇	連絡先	〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇
障害名(疾病)	知的障害	手帳	療育手帳〇〇(平成〇〇年〇〇月〇〇日)		

就学前から学校卒業後まで各年齢段階における支援

支援窓口	就 学 前		小学校段階		中学校段階	高等学校段階	卒業後
	低学年	中学年	高学年	卒業後			
母子保護	〇〇市 児童福祉課 障害福祉課 教育委員会 〇〇市保健センター 〇〇市児童発達センター 〇〇市障害福祉センター 就学前児童発達センター (〇〇小学校)	〇〇市 児童福祉課 障害福祉課 教育委員会 〇〇市保健センター 〇〇市児童発達センター 〇〇市障害福祉センター 就学前児童発達センター (〇〇小学校)	〇〇市 児童福祉課 障害福祉課 教育委員会 〇〇市保健センター 〇〇市児童発達センター 〇〇市障害福祉センター 就学前児童発達センター (〇〇小学校)	〇〇市 児童福祉課 障害福祉課 教育委員会 〇〇市保健センター 〇〇市児童発達センター 〇〇市障害福祉センター 就学前児童発達センター (〇〇小学校)	〇〇市 児童福祉課 障害福祉課 教育委員会 〇〇市保健センター 〇〇市児童発達センター 〇〇市障害福祉センター 就学前児童発達センター (〇〇小学校)	〇〇市 児童福祉課 障害福祉課 教育委員会 〇〇市保健センター 〇〇市児童発達センター 〇〇市障害福祉センター 就学前児童発達センター (〇〇小学校)	〇〇市 障害福祉課 教育委員会 生涯学習課
医療・福祉	〇〇病院(小児科) 担当: 〇〇 〇〇リハビリセンター 高松指導担当: 〇〇	〇〇病院(小児科) 担当: 〇〇 〇〇リハビリセンター 高松指導担当: 〇〇	〇〇病院(小児科) 担当: 〇〇 〇〇リハビリセンター 高松指導担当: 〇〇	〇〇病院(小児科) 担当: 〇〇 〇〇リハビリセンター 高松指導担当: 〇〇	〇〇病院(小児科) 担当: 〇〇 〇〇リハビリセンター 高松指導担当: 〇〇	〇〇病院(小児科) 担当: 〇〇 〇〇リハビリセンター 高松指導担当: 〇〇	〇〇病院(精神神経科) 担当: 〇〇 〇〇健康福祉センター
教育・保育	〇〇幼稚園 園長: 〇〇 コーディネーター: 〇〇 1年担任: 〇〇 2年担任: 〇〇 3年担任: 〇〇 4年担任: 〇〇 5年担任: 〇〇 特別支援学校 早期教育担当: 〇〇 (H〇年〇月〜)	〇〇小学校 コーディネーター: 〇〇 1年担任: 〇〇 高松指導担当: 〇〇 2年担任: 〇〇 3年担任: 〇〇 4年担任: 〇〇 5年担任: 〇〇 特別支援学校 早期教育担当: 〇〇 (H〇年〇月〜)	〇〇小学校 コーディネーター: 〇〇 1年担任: 〇〇 高松指導担当: 〇〇 2年担任: 〇〇 3年担任: 〇〇 4年担任: 〇〇 5年担任: 〇〇 特別支援学校 早期教育担当: 〇〇 (H〇年〇月〜)	〇〇小学校 コーディネーター: 〇〇 1年担任: 〇〇 高松指導担当: 〇〇 2年担任: 〇〇 3年担任: 〇〇 4年担任: 〇〇 5年担任: 〇〇 特別支援学校 早期教育担当: 〇〇 (H〇年〇月〜)	〇〇小学校 コーディネーター: 〇〇 1年担任: 〇〇 高松指導担当: 〇〇 2年担任: 〇〇 3年担任: 〇〇 4年担任: 〇〇 5年担任: 〇〇 特別支援学校 早期教育担当: 〇〇 (H〇年〇月〜)	〇〇小学校 コーディネーター: 〇〇 1年担任: 〇〇 高松指導担当: 〇〇 2年担任: 〇〇 3年担任: 〇〇 4年担任: 〇〇 5年担任: 〇〇 特別支援学校 早期教育担当: 〇〇 (H〇年〇月〜)	〇〇特別支援学校 (卒業後3年間) 1年担任: 〇〇 2年担任: 〇〇 3年担任: 〇〇 高松指導担当: 〇〇
家庭	新聞遊び 家事の役割分担等を記入。	新聞遊び 家事の配膳	読書 家事の配膳	読書 家事の配膳、料理の手伝い	読書 家事の配膳、料理の手伝い	読書 家事の配膳、料理の手伝い	読書 家事の配膳、料理の手伝い
地域	スイミングスクール 子供会 活動等	学童保育 スイミングスクール 子供会 活動等	学童保育 スイミングスクール 子供会 活動等	学童保育 スイミングスクール 子供会 活動等	学童保育 スイミングスクール 子供会 活動等	学童保育 スイミングスクール 子供会 活動等	学童保育 スイミングスクール 子供会 活動等
労働	労働時間での かかわりを記入。						

記入・更新年月日 平成 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日 記入者 所属・氏名 所属 〇〇市立〇〇小学校 氏名 〇〇 〇〇 〇〇

5 参考資料

- 特別支援教育啓発資料3 「[学級担任による個別の指導計画の活用](#)」 H20.3 栃教委
通常学級における個別の指導計画の記入の仕方や活用について記載されているリーフレット
[特別支援学級及び通級による指導 教育課程編成の手引](#) H22.2 栃教委
特別支援学級及び通級による指導の具体的な指導計画例や個別の指導計画・個別の教育支援
計画の様式が紹介されている冊子
特別支援教育啓発資料 「[個別の教育支援計画の作成について](#)」 H22.3 栃教委
個別の教育支援計画の作成方法と例が示されているリーフレット